

10 教材・教具について

(1) 本校で活用している教材・教具

生活全般で役立つもの

クッションチェア



- 座位の保持や、頭部や体幹が不安定で一人で座ることが難しい児童生徒に使用する。
- 身体全体を包み込むような構造になっているため、股関節を屈曲しやすく、身体を起こした状態を保持しやすい。
- 頭部が不安定な場合は、必要に応じてヘッドサポートやタオルなどを使用したり、三角マットで座面の角度をつけたりする。

キューボモビリア



- 筒状のマットであるが、広げて目的にあった形に整えることで、座位保持、伏臥位保持、遊具等、多様面で使用できる。



書見台



- 本やプリントを見やすいように立てる。
- 画用紙を固定して、絵を描くときに使用する。

エアレックスマット



- 床などに敷いて使用する。セラピーマットよりも厚く滑りづらい。
- 折りたたんだり、巻いたりできるので持ち運びやすい。

どっちもクリップ



- 強力なクリップが上下に付いていて、片方を机に、片方をいろいろな物に挟むことができる。



写真は、クリップに鈴状の鳴り物を挟んで、テーブル部分に取り付けて、腕や手を伸ばして楽器を鳴らす様子。

U字クッション



- 頭部や体幹が不安定で一人で座ることが難しい場合や、腕を支え前傾姿勢を安定させたい場合等、不安定な部位に差し込んだり支えにしたりして使う。



三角マット



- 身体に変形のある児童生徒の仰臥位を安定させる。
- 伏臥位で胸の下に三角マットを入れることで頭を上げたり手を使ったりするなどの動きがしやすくなる。



バードチェア



- 床面に設置している三角マットや体幹の脇にあるクッション部は取り外しが可能。座位の他に、床面に置くと、伏臥位の姿勢の補助にも使用できる。



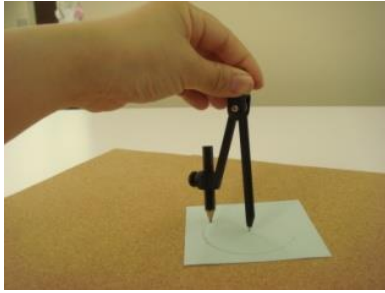
肩ひもずり落ち防止ベルト



- ランドセルやバッグの肩ひもが落ちないように止める。

学習全般で役立つもの

コンパスにコルクシート



- コンパスを使うときに、紙の下にコルクシートを敷く。市販の下敷きや発泡スチロールシートを使用した場合は針を安定させるのが難しく、中心がずれやすい。指に力が入りにくかったり、逆に力が入りすぎてコントロールしにくかったりする児童生徒でも、コルクシートを使用すると、適切な力加減でコンパスを使えるようになる。

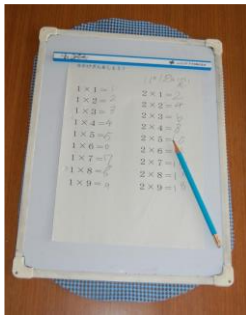
フリクションボールペン



- 力が弱い場合、筆記すると疲れやすい児童生徒に使用する。
- 長い文章を書くときや、書きたい文字の大きさによって芯の太さを変えるとよい。
- ボールペンだが、書いた字を消すことができる。

※6Bの鉛筆も使いやすい。

ずれ防止マット、クリップ



- プリントの記入時に、プリントがずれないように、滑り止めマットを敷き、クリップでプリントを固定する。

持ち方補助具 Qリング



- 親指の付け根まではめることで、うまく持つために欠かせない“3点固定”が楽にできる。
- 書くときは筆圧にこだわらずに、筆圧が低いときはマジックなどを利用できる。
- 学習だけでなく、食事でも活用できる。



ゆび筆



- 筆を持って描くことが難しいが、指や手首などを動かせる児童生徒に使用する。
- ゆび筆を指にはめる感覚が苦手な児童生徒には、指にティッシュを巻いてからにはめると、指に食い込む感覚が軽減され、落ち着いて活動できる。



かんたん鋏



- 特殊な戻りバネ付きのはさみ。
- 軽く握るだけで切ることができるに加え、握る力を緩めると開く。

CASTA



- 刃の部分にカバーが付き、安全に扱うことができる。
- 机や作業台等に置き、片手で押して切ることができる。



くるんパス



- 指先でつまむだけでなく、先端のキャップを握ってくるくる回転させることでも円を描くことができる。